

経営学部 教授 佐々木浩二

絶妙なバランスでお互いの周りを巡る星を連星といいます。地球から最も近い連星は、4 光年ほど先にある 3 重連星、ケンタウルス座アルファです。

3 つの星はそれぞれ A、B、プロキシマと呼ばれ、B は A の周りを回っています。

ラテン語で "最も近い" を意味するプロキシマは、A と B より 0.2 光年ほど地球に近い。最近、このプロキシマが地球と同じような惑星をとまなっていると発表されました。

惑星の名をプロキシマ b といいます。

コーネル大学に掲示されている論文[#]をみると、プロキシマの明るさは太陽の 18,000 分の 1 で、フレア（恒星表面の爆発）が観測されるとのこと。プロキシマ b には、地球の 30 倍もの強さの紫外線が降り注ぎ、250 倍の X 線が差し込む・・・

暗くて、とてつもなく強い太陽風が吹く、日焼け機能がついたレントゲン室にいるようなもの。生命にとってはなかなか厳しい環境のようです。

一方で Forbes は、プロキシマ b の行方、未だしれずと報じています^ℓ。

捜査線上に浮かんで消えるミステリアスな容疑者の手がかりを掴めるのでしょうか。

日常をふっと離れ、星空を眺めてみよう。

論文はこちらのサイトから取得

<http://arxiv.org/abs/1608.06813>

ℓ "The Closest Star System To Ours Doesn't Have Any Planets (Yet), After All" というタイトルの 2016 年 1 月 5 日の記事



星の王子さまの天文ノート / 縣秀彦監修
河出書房新社, 2013.2

生田分館 J/440/H92

神田分館 /440/H92

